

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
我孫子市	我孫子市	平成 28 年度～令和 5 年度	平成 28 年度～令和 5 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成26年度)	目 標 (令和5年度) A	実 績 (令和5年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	8,637 t	7,758 t	8,869 t (114.3%)
	1 事業所当たりの排出量	2.71 t	2.44 t	2.70 t (110.6%)
	生活系 総排出量	32,783 t	28,792 t	29,574 t (102.7%)
	1 人当たりの排出量	172.1 kg/人	151.1 kg/人	171.2kg/人 (113.3%)
	合 計 事業系生活系総排出量合計	41,420 t	36,550t	38,443 t (105.1%)
再生利用量	直接資源化量	5,048 t	5,063 t	3,702 t (73.1%)
	総資源化量	10,460 t	10,817 t	8,831t (81.6%)
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	— MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t (%)

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成26年度)	目 標 (令和5年度) A	実 績 (令和5年度) B	実績 /目標
総人口	133,044 人	124,272 人	131,262 人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	108,812 人	110,602 人	111,770 人 101.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	81.8%	89.0%	89.0% 47.222%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	人	人	人 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率			

		%	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	人	人	人	%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%	%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	12,570 人	3,977 人	6,477 人	162.1%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

【ごみ処理】

・排出量

事業系については、事業所の数が増えたことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、事業活動が活発化したことなどによりごみ量は増えたものの、発生抑制の動きまでに至らなかったものと考えられる。

家庭系については、人口減少やごみ減量の取組などにより平成28年度の現状値から排出量は減少したものの、資源化率が想定どおりには向上しなかったため、目標までの排出量の削減にはつながらなかったものと考えられる。

・再生利用量

直接資源化量については、特に古紙類の排出量が大幅に減少したためと考えられる。

総資源化量については、総量が減少したことは良い傾向であると考えられるが、古紙類が大幅に減少したことや生ごみの資源化を取りやめたことなどにより、目標までの資源化率には届かなかったものと考えられる。

【生活排水処理】

単独処理浄化槽世帯や汲取り世帯における高齢化や不景気等で公共下水道や合併処理浄化槽への転換に踏み切れない部分があることが考えられる。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和12（2030）年度まで

【ごみ処理】

ごみ減量や資源化の必要性について、引き続き啓発を行うことで排出量の削減を促していくとともに、令和12年度から新しく稼働する予定の資源化施設（リサイクルセンター）の整備に向け、新たな資源化の品目を増やすことで資源化率の向上に努めていく。

【生活排水処理】

今後も継続して浄化槽設置整備事業を展開し、公共下水道事業と連携して未処理人口を減少させていく。

(都道府県知事の所見)

【ごみ処理】

目標を達成できなかった排出量と再生利用量の指標について、【3 目標達成に向けた方策】を適切に実行し、次期地域計画における目標の達成に努められたい。

【生活排水処理】

汚水衛生未処理人口については、目標達成状況報告書でも述べたように目標を達成できなかったが、平成 28 年度の現状からは減少しており、合併処理浄化槽の整備も進んでいることから本地域における汚水衛生未処理人口の減少は確実に進展している。今後は、目標が達成できなかった要因を把握し、目標達成に向けた方策を実施することで、引き続き汚水衛生未処理人口の減少に努められたい。